

|            |  |
|------------|--|
| 科 目 名      | 近現代の世界   |
| 単 位        | 2  |
| 教 員 名      | アンドリュー デュアー  |
| 授 業 概 要    | <p>現代を生きる私たちの生活は世界の経済や社会、文化などに左右される。</p> <p>16世紀以降歴史は世界化(グローバル化)を進めてきた。その本質を理解し、私たちの社会をよく見通すことをねらいとする。到達目標は、近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けながら理解し、現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い現代社会の必要を担う教養人を育成していきます。</p>  |
| 授業の目的・到達目標 | 歴史と文化を、社会との関係において、正確に理解できるようになること、およびそのための思考の訓練の場を提供することを目標とする。  |
| 授 業 計 画    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (授業進行についての解説)</li> <li>2. 社会と個人のつながり</li> <li>3. 社会化と社会統制のメカニズム</li> <li>4. 地位と役割 (社会化の展開)</li> <li>5. 社会規範の基本的性格</li> <li>6. 文化と社会</li> <li>7. 国から国家へ</li> <li>8. 法的世界の成立</li> <li>9. 紛争</li> <li>10. 産業革命の影響</li> <li>11. 近代的権利の成立</li> <li>12. みんなのための教育</li> <li>13. 福祉と個人の「命綱」</li> <li>14. 政治形態と社会の発展</li> <li>15. 理解の確認 (振り返り)</li> </ol> |
| 予 習・復 習    | 授業で指示する。また、毎日の新聞閲覧は望ましい  |
| 成績評価の基準    | <p>レポート課題 80% 参加態度 20%</p> <p>なお、評価基準の詳細については初回の授業で説明する</p>  |
| 教 科 書      | なし   |
| 参 考 書      | その都度、授業で紹介する。  |
| 備 考・その他    | 特になし   |